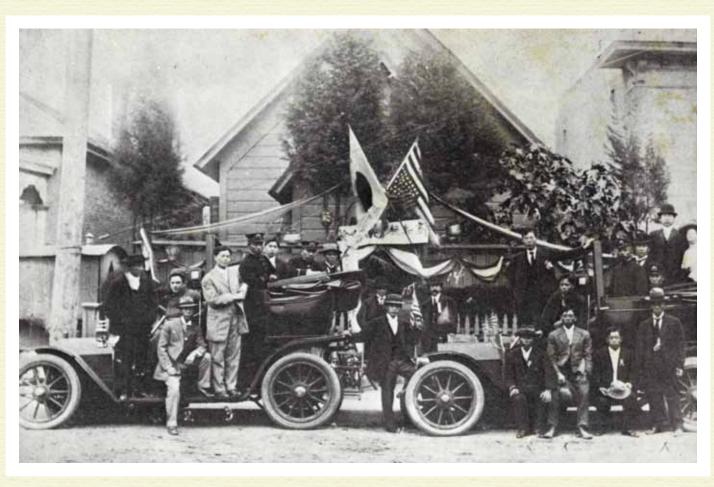


日本人の海外移住は100年以上の 歴史があります。

JICA横浜 海外移住資料館では、 海外へ移住し、それぞれの国や地域で 新しい文明作りに参加してきた 日本人移住者の歴史と、その子孫である 日系人について広く理解を 深めてもらうことを目的に、 さまざまな資料を展示しています。

- ■発行元: JICA横浜 海外移住資料館 神奈川県横浜市中区新港2-3-1 JICA横浜2階 Tel:045-663-3257(代) URL:http://www.jomm.jp/
- ■編集発行人:JICA横浜 海外移住資料館 館長 朝熊由美子

南国土佐をあとにして一海を渡った「いごっそう」一

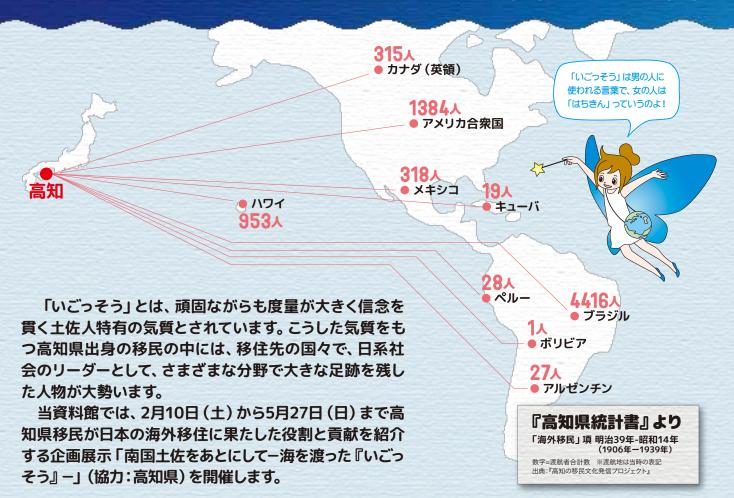


南加高知県人会の結成(1909年4月) アメリカ・ロサンゼルスのリトルトーキョーにて 高知新聞社所蔵



南国土佐をあとにして 一海を渡った「いごっそう」

2月10日(土)~5月27日(日)



高知県からの移民

『高知県統計書』の「海外移民」(明治39年~昭和14年)によれば、高知県から8,401人が20数カ国(地域)へと渡り、7,461人がカナダ、アメリカ、ハワイ、ブラジル、ペルーなど北中南米へ移住しています。他県に比べると、それほど多い数字ではありません。

明治10年代(1870年代後半)に高知県で盛んだった 自由民権運動は、明治維新で職を失った士族の生活再建 を目的とした運動で、移民や開拓もそのひとつでした。

志を抱いて新たな地を開拓する「高知スピリット」が、移住先国でリーダーとして活躍した理由といわれています。

その代表的な人物が、ブラジル移民事業を始めた水 野龍、海外植民学校を創設した﨑山比佐衛、キリスト教 伝道のためハワイへ渡った奥村多喜衛です。

戦後は、ブラジル、パラグアイ、ドミニカ共和国、アルゼンチン、ボリビアなど中南米への移住が行われました。

なかでもパラグアイへ日本から移住した7,177人のうち、高知県出身者は全国で最も多い1,079人に上ります。県南西部に位置する大正町(現四万十町)では、町ぐるみでパラグアイへの集団移住を進め、1957年に21家族128人がフラム移住地(現ラ・パス)へ移住しました。

ブラジル移民の父 水野 龍

水野は1859年、高岡郡佐川村(現佐川町)に武士の子として生まれ、土佐藩筆頭家老の深尾家領主が開いた学校「名教館」で学んだ後、1878年、盛んになりつつあった自由民権運動に関わりました。

1897年頃、海外で排日運動が起こると、水野は「移民問題の改善に身を捧げる」と決意し、1903年に移民事業を取り扱う皇国殖民会社を設立。2度ブラジルへ渡り、1907年にサンパウロ州政府と日本人移民の受入契約をまとめます。

1908年、全国から募集した781人の移民を乗せた移民船「笠戸丸」を監督官として率い、日本人のブラジル移住が始まりますが、移民たちに不利な状況を目の当たりにし、事業が皇国殖民社会から離れた後も、移民の現状改善に尽力します。

1924年、自らもブラジルへ移住。1941年、一時帰国した水野は、当時の外務大臣兼拓務大臣に手紙を送り、「ブラジル同胞移民が棄民と呼ばれていることの責任を(自分が)一身に負うべき」と述べた上で、自身が理想郷を目指しパラナ州に開いた植民地の経営難を訴えました。

91歳で亡くなるまで、一貫してブラジル移民に関わった水野は「ブラジル移民の父」と称されています。



水野龍 写真提供:水野龍三郎

日本で最初の喫茶店を開店

1910年、サンパウロ州政府は日本でのコーヒーの普及を目的に、水野にコーヒーを無償で提供しました。水野は東京に合資会社「カフエーパウリスタ」を設立。横浜、名古屋、大阪などに支店を開くほどの盛況ぶりでした。

本企画展示では、1911年に大阪府箕面市で開店した「カフエーパウリスタ箕面喫店」の模型を展示します。



祖父のおかげで叶った野球留学の夢

水野ジョナタン正一さん(ブラジル日系三世、静岡県浜松市在住)

祖父水野龍の出身地、高知県佐川町とホームタウン協定を結んでいる野球チーム「高知ファイティングドッグス」に、2014年から2年間、練習生として受け入れていただきました。生活面では、「水野龍を顕彰する会」のみなさんにいろいろと支援していただき、祖父のおかげで、日本で野球をやりたいという夢を叶えることができました。ひじを痛めてしまい、野球を続けることはできなくなってしまいましたが、祖父のように人の役に立つ仕事をしていきたいと思い、積極的にボランティア活動に参加しています。

アマゾン日本植民の父 崎山 比佐衛

1875年10月29日、長岡郡本山村(現本山町)で生まれた 﨑山は、地元の小学校を卒業後、農業に従事しながら夜学に 通っていました。

1893年、18歳で第一次北海道移民団に応募。団員26人の 最年少者として、北海道石狩川ちかくの月形村字ウラウシナイ (現浦臼町)に入り、仲間とともにキリスト教精神による理想 農場「聖園農場」を開拓しました。

1914年、南北アメリカを視察して回り、帰国後、日本人の海外発展のために必要とされる指導者の育成を目的に、1918年、東京に海外植民学校を創設。自ら校長として海外雄飛を志す若者の指導にあたります。

同校の創設は、渋沢栄一、浜口雄幸など政財界の指導者が協力者として名前を連ねるほど注目されていました。卒業生のうち700人以上が南米に移住しています。

﨑山は、日本人移民 が入植する適地とし てアマゾンに着目し、



・ 晩年の﨑山比佐衛(1939年)

1932年、自らも57歳でブラジル・アマゾン河流域のマウエスへ移住します。アマゾン開拓は大変厳しく、1941年、マラリアに感染し67歳で死去しました。

崎山の偉業を称え、海外植民学校交友がマウエスに「アマゾン日本植民の父」の墓碑を建立。2010年にはアマゾナス州とマウエス市により「崎山比佐衛公園」が開設されました。



植民学校生徒の実習。右から3人目が崎山。高知県立歴史民俗資料館所蔵



曽祖父の志を継いで環境問題に取り組む

崎山メリーナさん(ブラジル日系四世、ドイツ在住)

現在、ドイツのNGO団体で生物多様性に関する国連条約のプロジェクトに取り組んでいます。曽祖父の﨑山比佐衛は情熱的で先見性があり、移民のために貢献した人で、私にとっても偉大な先生です。アマゾン開拓の重要性を認識していた﨑山先生が生きていれば、きっと環境問題に取り組んでいる私の仕事を誇りに思ってくれたでしょう。私が、環境に対する人々の意識を変えていく活動を続けていくことは、先生の歩みに続くことだと信じています。曽祖父の教えは私の心の中に生きているのです。

サムライ牧師と呼ばれた 奥村 多喜衛

1865年、奥村は安芸郡田野郷(現田野町)の土佐藩士の長男として生まれました。高知中学校に入学し自由民権思想を学び、その後自由民権運動にも参画しました。やがてキリスト教の洗礼を受け、同志社神学校で学びます。

1894年に同校を卒業後、ハワイへ渡り牧師となります。 1896年には永住を決意し、家族を呼び寄せました。通訳や総領事館への届け出、送金手続きなど、日本人移民の世話もしました。

1895年に日本人幼稚園を、翌年ホノルル日本人小学校を設立。1897年には奥地の日系人子弟にホノルルでの教育の機会を提供するため「日本人寄宿舎」を開設したほか、日本



「ハワイの高知城」と呼ばれるマキキ聖城キリスト教会 写真提供:マキキ聖城キリスト教会

人慈善病院建設にも尽力 しました。

太平洋戦争開戦時には、米軍幹部に日系二世のアメリカへの忠誠心を伝え、日系人に対する理解を求めました。

奥村は、1932年、日本 人移民の心のよりどころ として、ホノルル市内のマ キキに故郷の高知城をモ デルにしたマキキ聖城キ リスト教会を建設。戦時中

は、敵国日本に関連するものとして存在が危ぶまれましたが、奥村と親交のあった米軍兵士たちが教会の礼拝に参加し、教会を弾圧から守り抜きました。

1951年85歳で死去。奥村はどの ような状況においても、信念を貫く気 骨ある行動から「サムライ牧師」と呼ばれました。



奥村多喜衛 写真提供:マキキ聖城キリスト教会

マキキ聖城キリスト教会の 本物の33分の1の模型を 展示するのよ! ぜひ見に来てね!



<mark>海外移住資料館や海外移住にまつわるさまざまな情報をお届けするコーナーです</mark>。

Topic-1

優れたサービスを提供する施設としての評価 トリップアドバイザー「エクセレンス認証2017」を受賞!

当資料館は、世界最大の旅行サイト「トリップアドバイザー」が、優れたサービスを提供していると旅行者から高く支持された施設に与える「エクセレンス認証2017」を受賞しました。

CERTIFICATE of EXCELLENCE エクセレンス問題 tripadvisor*

2011年に開始され今年で7回目となる「エクセレンス認証」は、トリップアドバイザーに掲載されている世界中の宿泊施設、観光施設(観光名所・ツアー含む)、レストランを対象とした世界共通の指標です。

「エクセレンス認証」を獲得する認定基準は、過去1年間においてトリップアドバイザーの評価が5段階中4以上の総合評価を維持していること、一定数の口コミ数を獲得していること、トリップアドバイザーに継続して掲載されていることの3点です。

2017年は194カ国、59万5,323の施設が認証を獲得し、日本では1,846の宿泊施設、2.599の観光施設とレストラン2.120の合計6.565カ所が選ばれました。



Topic-2

第58回海外日系人大会 秋篠宮同妃両殿下が 「写真展 ハワイ日系人の歩み」 展示パネルをご覧に

世界19カ国から248人の日系人が参加した第58回 海外日系人大会が10月23日から25日まで東京で開催 されました。千代田区永田町の憲政記念館で開催された 歓迎交流会には、秋篠宮同妃両殿下がご臨席され、会場 ロビーに展示された「写真展 ハワイ日系人の歩み」*の パネルをご覧になりました。

※当資料館の企画展示「写真展 ハワイ日系人の歩み」(2017年6月24日~9月18日まで開催)から10枚のパネルを展示。



秋篠宮同妃両殿下ご臨席のもと開催された歓迎交流会 写真: 仲島カルロス

Topic-3

広島・ハワイ州友好提携20周年記念 広島から世界へ 一移住の歴史と日系人の暮らし一

当資料館で昨年3月から5月に開催した企画展示「広島から世界へ一移住の歴史と日系人の暮らし一」の巡回展(広島県・ハワイ州友好提携20周年記念実行委員会主催)が、昨年10月から今年1月にかけて広島県内の3会場(広島会場、三次会場、福山会場)で開催され、約2,300人が来場しました。

来場者アンケートでは「広島県とハワイの繋がりをより深く感じることができました」「広島からの移民の歴史がわかりやすく紹介されていた」などの感想が寄せられました。



広島会場の開会式に朝熊由美子館長(右端)が出席し、湯崎英彦広島県知事(右から4人目)、ドーン・アマノ・イゲ・ハワイ州知事夫人(左から4人目)らとテープカットを行った

海外各地で移住者・日系人のために発行さ れている邦字新聞より、気になるトピック をピックアップしてご紹介します。

2017年11月7日

ペルー日系人協会 100周年記念式典を開催

(1) 16. 20.777

ベルー新報 (東田 208-2200 | 田本田本本田 emil) percebimpelyation.co. je

2017年(平成 29年) 11月7日 (名)

ペルー日系人協会が100周年 を記念するセレモニーを実施



- 日系人協会はラ・ウニオン運動場

付け加えられました。長い歳月を経る中で困難な 期もありましたが、日系のコミュニティーを強化 、ベルー社会に貢献するという信念をもって前進

東京 大学 は 1 月の と合わせて約 と合わせて約 は 間 4 月の と 1 月の と 2 分替われ 会会問題

|| || 8 米日米 側本首 はは脳 貿対会 易北談 赤圧 字力 正最 を限 ベルー新報

の選択性は、 のでは、 ので



こ日刊かし州合局駅人前政タた察局とは南岸に と身間でがしを首府ルスにはペ う年間に出た条相の1ペ出るル

テあ述のつ後の 1らペーい取情

* 友の会メーリングマガジンへの 登録申し込み詳細は、資料館

月3日にリマ市内のラ・ウニオン運動場で開催されました。各 国の代表団も参加して盛大に行われた式典には、当資料館 からも朝熊由美子館長が出席しました。その模様をペルー新 報(本社:ペルー・リマ)が伝えています。

ペルー日系人協会の創立100周年を記念する式典が、11

ペルー新報の紙面より

11月3日、ペルー日系人協会はラ・ウニオン運動場(AELU)に おいて100周年を記念するセレモニーを実施した。同セレモ ニーには、リマで行われているパンアメリカン日系人大会に参 加している各国の代表団の方々や多くの招待客が参加し、特別 な夕食とともに様々なアーティストによる発表も行われた。

ペルー日系人協会会長の国頭ホルへ氏は「1917年11月3日 に、若い日本人移住者たちは相互扶助とペルー社会への貢 献を目的としてペルー中央日本人会を創立しました。(中略) 時代の移り変わりとともに、先祖から受け継いだ価値観を守 りつつも、文化活動の促進とコミュニティーのためのサービ ス提供が同協会の目的として付け加えられました。長い歳月 を経る中で困難な時期もありましたが、日系コミュニティーを 強化し、ペルー社会に貢献するという信念をもって前進して きました。(中略)」と挨拶した。(後略)

海外移住資料館 検索



ウェブサイトをご覧ください。





10:00~18:00(入館は17:30まで) ●開館時間

●休館日 月曜日(月曜日が祝祭日の場合は翌日)、 年末年始(12月29日~1月3日)、4月22日(日)

●入館料 無料

アクセス

■みなとみらい線

「馬車道」駅(4番出口)から徒歩約8分

「みなとみらい」駅(クイーンズスクエア方面改札)から徒歩約15分

■JR線·市営地下鉄

「桜木町」駅から(汽車道→ワールドポーターズ→サークルウォーク) 徒歩約15分



独立行政法人国際協力機構 横浜国際センター

Eメール info@jomm.jp

http://www.jomm.jp